

第4章 重点プロジェクト

第2章で掲げた望ましい環境像の実現に向けて、第3章において方向づけた施策の展開のうち、本市の地域特性や課題などを踏まえ、重点的かつ計画的な展開を図っていく必要がある重点プロジェクトを推進します。

1. 再生可能エネルギーの利用推進

太陽光などを活用した再生可能エネルギーの利用を推進し、カーボンオフセット制度等と連携した新たな施策を検討します。

2. バイオガスプロジェクトの推進

生ごみ等を活用したバイオガス*プロジェクトを推進し、資源循環型社会システムの構築を目指します。

3. EV普及によるまちづくりの推進

EV（電気自動車）普及によるまちづくりを進め、本市の温室効果ガス排出量の約42%を占める運輸部門の削減対策を推進します。

4. 生物多様性の保全

「生物多様性地域戦略」を策定し、生物多様性を保全することにより、健全で恵み豊かな自然環境を次の世代に継承します。

5. 環境保全活動のネットワークの構築

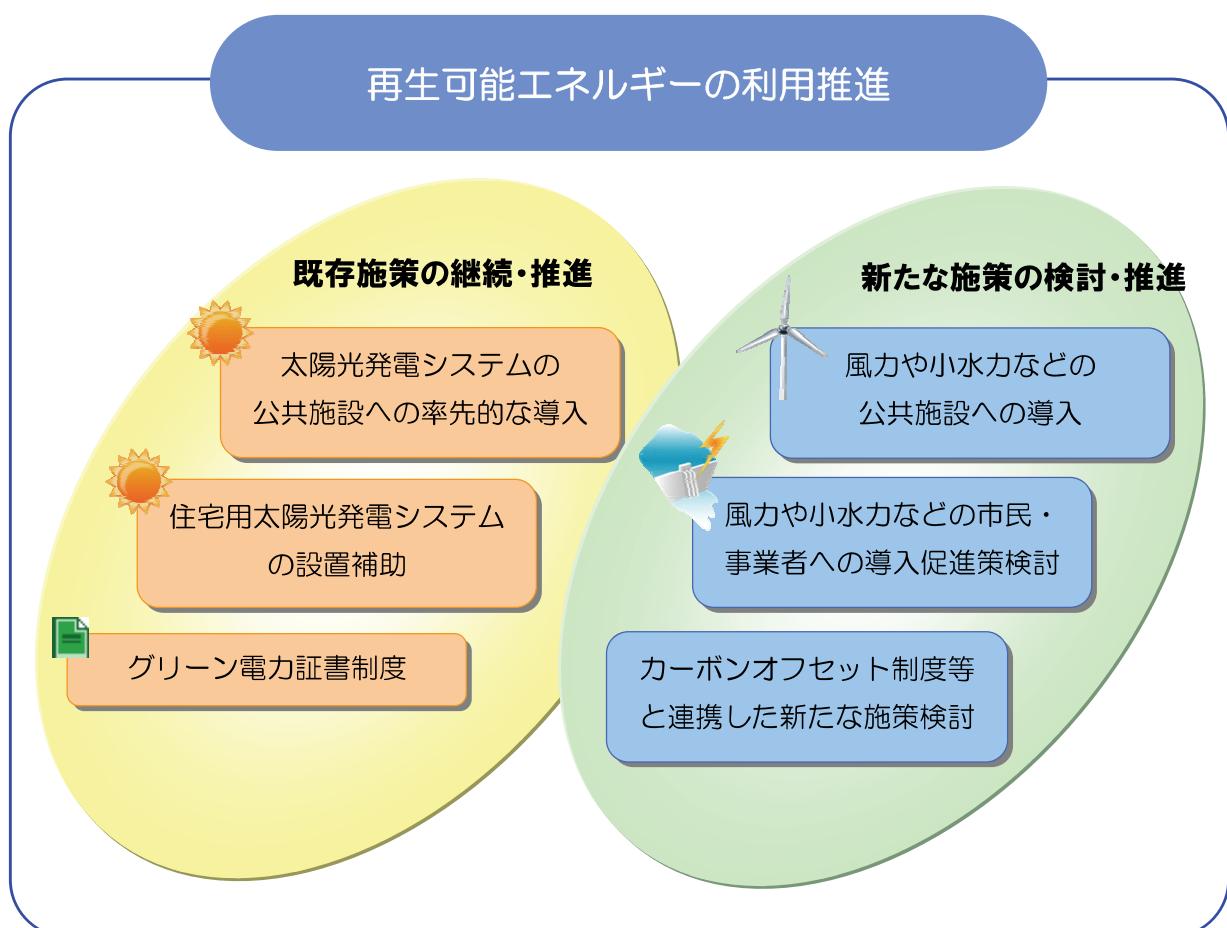
「かごしま環境未来館」を中心として、市民・事業者・市民活動団体など、さまざまな活動主体とネットワークを構築し、協働・連携しながら環境保全活動を推進します。

1 再生可能エネルギーの利用推進

日照時間が長く、日射量も多い本市は、太陽エネルギーの利用に適した地域であり、これまでに、太陽光発電システムの公共施設への率先的な導入や住宅用太陽光発電システムの設置補助、グリーン電力証書制度などにより、太陽光発電システムの導入を推進してきました。

今後は、太陽光発電システムのさらなる普及を推進するとともに、風力や小水力などを活用した再生可能エネルギーについても、公共施設への導入や市民・事業者への導入促進策を検討するなど、利用を推進します。

また、カーボンオフセット制度等と連携した新たな施策を検討します。



2 バイオガスプロジェクトの推進

私たちの生活に欠かせない電気などのエネルギーは、現在でも化石燃料に大きく依存しており、地球温暖化対策を進めるためには、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーへの転換を図ることが必要です。

また、これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄により、天然資源の枯渇などが進んでおり、資源循環型社会システムを構築することも求められています。

そのため、本市で発生する生ごみ等を活用したバイオガス施設の整備を検討し、地球温暖化対策を推進するとともに資源循環型社会システムの構築を目指します。

バイオガスプロジェクトの推進

一般家庭・事業所 等



バイオガスプラント

3 EV普及によるまちづくりの推進

本市の地球温暖化対策の実行計画である「鹿児島市地球温暖化対策アクションプラン」では、温室効果ガス排出量を平成33年度までに平成2年度比12%削減する目標を掲げています。この目標を達成するためには、温室効果ガス排出量の約42%を占める運輸部門の削減対策を積極的に推進していくことが必要です。

このようなことから、EV普及によるまちづくりを推進し、温室効果ガス排出量の削減に努めます。

EV普及によるまちづくりの推進

カーシェアリング*の導入



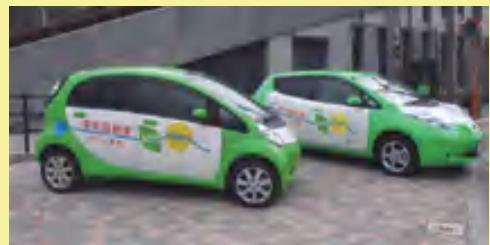
インフラの整備



EV購入時の補助



公用車への率先導入



重点プロジェクト

4 生物多様性の保全

私たちは、生きるための水や食べ物だけでなく、住まいの材料や衣服、薬の原料など多くのものを自然の恵みに依存しています。また、自然とふれあうことにより季節を感じ、心に潤いや癒しがもたらされるなど自然そのものからもさまざまな形で恩恵を受けています。つまり、自然環境や多様な生きものが存在すること、すなわち生物多様性の豊かさは私たちの暮らしの豊かさにつながるといえます。

しかしながら、都市化の進展、産業構造の変化、地球温暖化などにより、世界的に生物多様性が失われてきており、平成4年（1992年）に開催された「地球環境サミット」に合わせて、「生物多様性条約」が採択され、平成22年（2010年）3月現在の締約国数は日本を含め193となっています。日本においても条約締結を受け、「生物多様性基本法」や「生物多様性国家戦略」の制定等を行い、国としての取組が進められています。

一方で、生物多様性のあり様や課題は地域ごとに異なるものであり、本市の恵み豊かな自然を次の世代へ引き継いでいくためには、本市としてこの課題解決に積極的に取り組む必要があることから、「生物多様性基本法」の規定に基づき、「生物多様性地域戦略」を策定し、生物多様性の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。



5 環境保全活動のネットワークの構築

私たちのまち“かごしま”の恵み豊かな環境を次の世代に引き継いでいくためには、市民みんなで力を合わせて環境保全活動に取り組んでいかなければなりません。そのためには、市民一人ひとりが環境について関心や理解を深め、自発的に環境保全活動を実践することが求められており、環境学習の果たす役割は重要となっています。

本市では、平成20年10月に環境学習や環境情報発信、市民の環境保全活動の拠点施設として「かごしま環境未来館」を整備し、子どもから大人まで楽しく環境学習ができるよう、展示の解説や案内を行うとともに、地域の自然や生活の中の環境に関することなどを参加体験型で学ぶ環境学習講座や、地域で自主的に環境保全活動に取り組む人材の育成のほか、市民や事業者と協働したイベントや企画展など、さまざまな催しを実施しております。

このかごしま環境未来館を中心として、地域で環境保全活動に取り組む市民・事業者・市民活動団体など、さまざまな活動主体とネットワークを構築し、協働・連携しながら環境保全活動を推進します。

